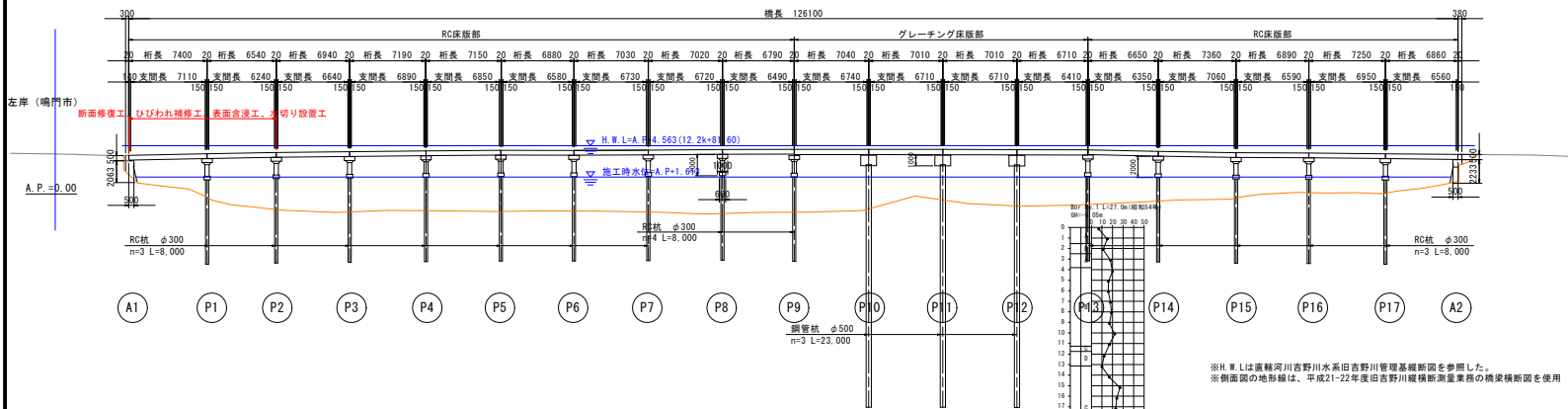
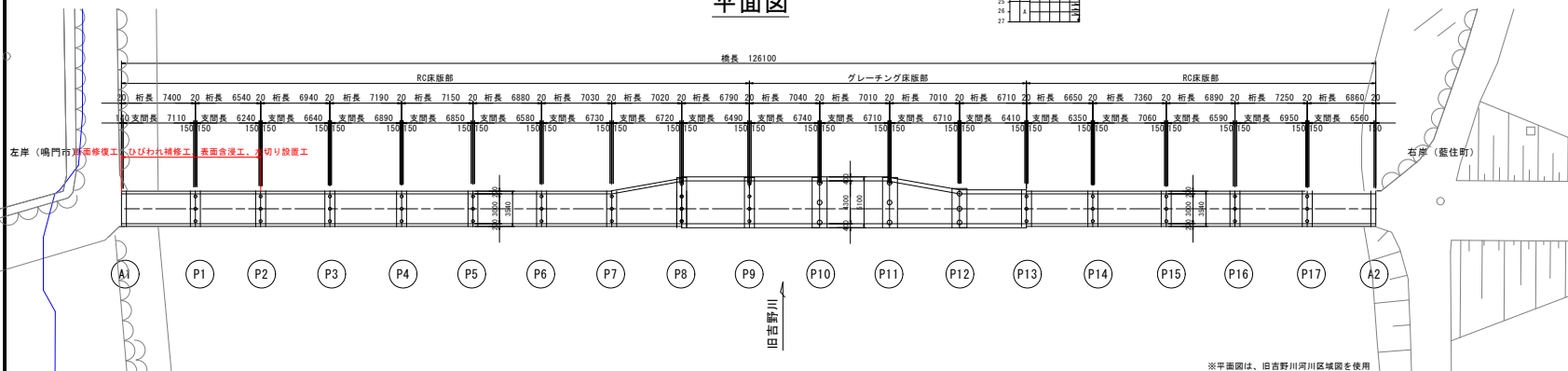


補修一般図 S=1:250

側面図

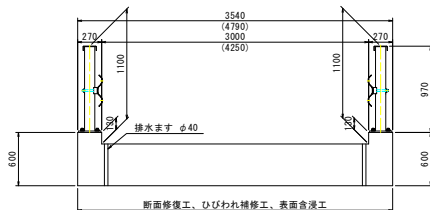


平面図



上部工断面図 S=1:30

RC床版部

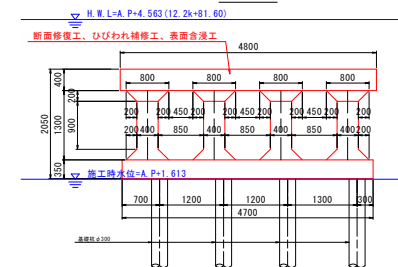


設計条件

道路条件	
路線	市道 市場橋線
道路規格	第3種4級
設計速度	V=40km/h
設計荷重	TL-6 (TL-14: グレーチング床版部)
大型車交通量	不明
計画交通量	不明
交通物種	1級河川吉野川水系 旧吉野川
幾何条件	
橋名	市場橋
橋長	L=126.100m (DL上)
桁長	6.540~7.400m (DL上)
支間長	6.240~7.110m (DL上)
総幅員	3.540~5.100m
有効幅員	3.000~4.300m
斜角	$\theta = 90^{\circ} 00' 00''$ (A1~P8, P10~A2), $84^{\circ} 38' 42''$ (P9)
平面線形	R = ∞
縦断勾配	不明
横断勾配	i=L-LEVEL
構造形式	
上部工	単純RC床版橋9連+単純H型橋4連+単純RC床版橋5連
舗装	アスファルト舗装 t=50mm
下部工	重力式橋台、ラーメン橋脚 (RC)、パイルベント橋脚 (鋼製)
基礎工	鉄鋼管杭、直接基礎
支承	固定可動形式

下部工正面図 S=1:30

P9橋脚



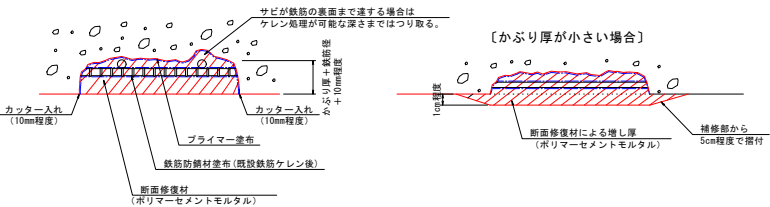
注記

1. 本図面は、既存資料を基に現地計測やスケールアップ等にて図化したものである。
2. 詳細な寸法等に不明箇所がある為、必要に応じて再計測等を実施すること。

図面番号	第 1 号	図面総数	第 6 葉
工事名称	市場橋橋梁補修工事		
図名	補修一般図		
製作年月	令和7年8月	所属年度	令和7年度
係員	課長	副課長	係員
	設計・製図	照査	
鳴門市 都市建設部 土木課			

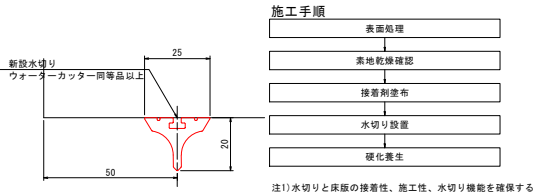
補修詳細図(その1)

断面修復工詳細図

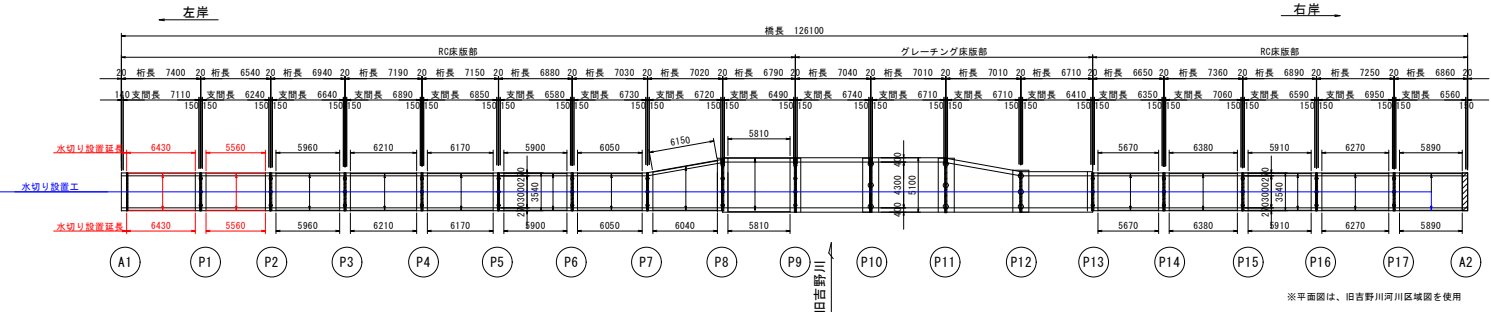


- ※ 使用する材料の仕様に基づいて施工すること。
- ※ 補修部縁端は、フェザーエッジが生じないようにカッターで切れ込みを入れること。
- ※ 鉄筋のかぶり厚が薄い場合は、ポリマーセメントモルタルで10mm以上は確保するように盛って摺り付ける形で断面修復を行うこと。施工時の巻線等の残骸は可能な限り除去して断面修復すること。
- ※ はつり深さは適宜調整するものとし、脆弱部は完全に除去して充填を行うこと。
- ※ 鉄筋がある場合は、既設鉄筋の背面、既設部材の組骨材寸法程度まで除去する。(10~20mm程度)
- ※ 豆板部で組骨材が露出している部分においては脆弱部ははつり取り、健全部を露出してポリマーセメントモルタル等を塗布や充填して復旧すること。
- ※ はつりを行い、鉄筋が確認された場合は錆を除去した後、鉄筋防錆材を塗布すること。

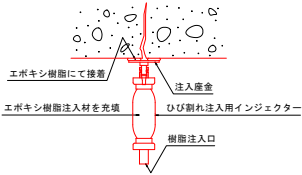
水切り詳細図 S=1:1



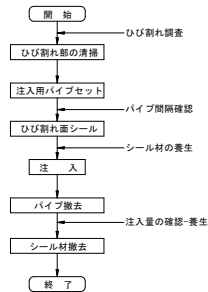
水切り設置工位置図 S=1:250



ひびわれ注入工詳細図



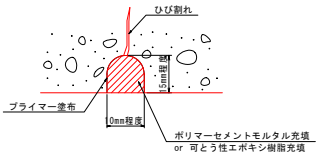
〔ひび割れ注入工法の施工要領〕



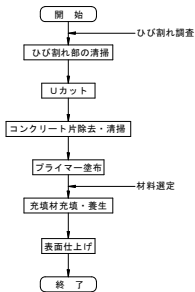
- 注) 施工時に現地実測の上、数量を確定すること。
- 注) 規格は、エポキシ樹脂注入材 1種(下部工)、3種(上部工)同等品を推奨とする。
- 注) 基本的にひび割れ幅0.2~1.0mm以下を対象にひびわれ注入による補修とする。
- 注) 遊離石灰部は研砕して状態を見極めて、補修すること。
- 注) 損傷状況により補修工法に変更が生じる場合は、監督員と協議の上、最終決定すること。

ひびわれ充填工法詳細図

(Uカット工法)



〔Uカット工法の施工要領〕



- 注) 施工時に現地実測の上、数量を確定すること。
- 注) 充填材は、ポリマーセメントモルタルとする。
- 注) 基本的にひび割れ幅1.0mm以上及び遊離石灰等で注入が困難な箇所を対象とする。
- 注) 遊離石灰部は研砕して状態を見極めて、補修の必要性を判断すること。
- 注) 損傷状況により補修工法に変更が生じる場合は、監督員と協議の上、最終決定すること。

図面番号	第 2 号	図面総数	第 6 葉
工事名称	市場橋橋梁補修工事		
図 名	補修詳細図(その1)		
製作年月	令和7年8月	所属年度	令和7年度
係 員	課 長	副 課 長	係 長
	係 員	設計・製図	照 査
鳴門市 都市建設部 土木課			

補修詳細図(その2) S=1:40

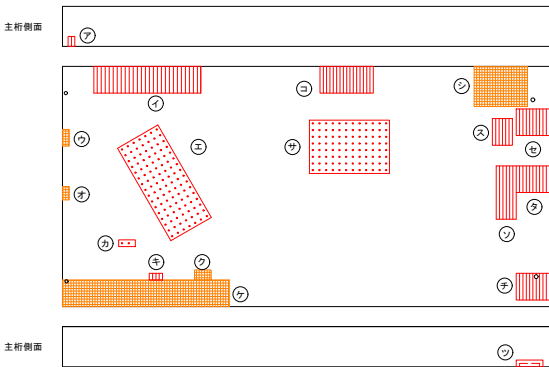
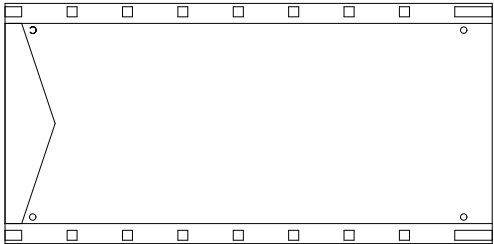
市場橋 上部工

橋面

桁下面

第1径間

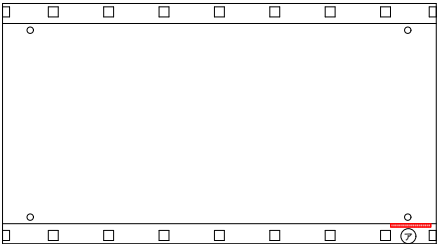
第1径間



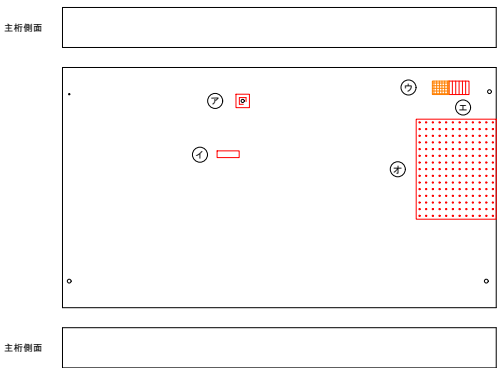
断面修復工(左官工法)									
部材	No.	種別	幅 B (mm)	延長 L (mm)	深さ t (mm)	面積 A (㎡)	体積 V (m³)	防錆	処理
主桁0101	ア	鉄筋露出	150	100	50	0.0150	0.0008	有	
主桁0101	イ	鉄筋露出	400	1000	50	0.1400	0.0328	有	
主桁0101	ウ	うき	250	100	50	0.0250	0.0013	有	
主桁0101	エ	豆板	1600	700	50	1.1200	0.0540	有	
主桁0101	オ	うき	200	100	50	0.0200	0.0010	有	
主桁0101	カ	豆板	100	250	50	0.0250	0.0013	有	
主桁0101	キ	鉄筋露出	100	200	50	0.0200	0.0010	有	
主桁0101	ク	うき	150	250	50	0.0375	0.0019	有	
主桁0101	ケ	うき	400	2500	50	1.0000	0.0500	有	
主桁0101	コ	鉄筋露出	400	800	50	0.3200	0.0160	有	
主桁0101	サ	豆板	800	1200	50	0.9600	0.0480	有	
主桁0101	シ	うき	600	800	50	0.4800	0.0240	有	
主桁0101	ス	鉄筋露出	400	300	50	0.1200	0.0060	有	
主桁0101	セ	鉄筋露出	400	500	50	0.2000	0.0100	有	
主桁0101	ソ	鉄筋露出	800	300	50	0.2400	0.0120	有	
主桁0101	タ	鉄筋露出	400	500	50	0.2000	0.0100	有	
主桁0101	チ	鉄筋露出	400	500	50	0.2000	0.0100	有	
主桁0101	ツ	割離	100	400	50	0.0400	0.0020	有	

第2径間

第2径間



断面修復工(左官工法)									
部材	No.	種別	幅 B (mm)	延長 L (mm)	深さ t (mm)	面積 A (㎡)	体積 V (m³)	防錆	処理
地盤0201	ア	鉄筋露出	50	600	50	0.0300	0.0015	有	



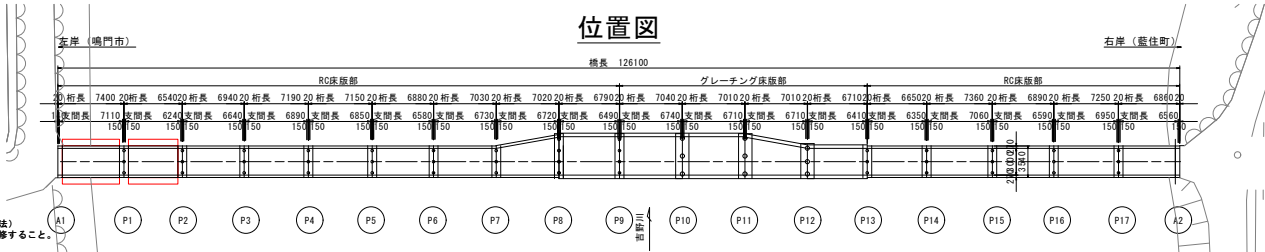
断面修復工(左官工法)									
部材	No.	種別	幅 B (mm)	延長 L (mm)	深さ t (mm)	面積 A (㎡)	体積 V (m³)	防錆	処理
主桁0101	ア	鉄筋露出	200	200	50	0.0400	0.0020	有	
主桁0101	イ	鉄筋露出	100	300	50	0.0300	0.0015	有	
主桁0101	ウ	うき	200	250	50	0.0500	0.0025	有	
主桁0101	エ	鉄筋露出	200	300	50	0.0600	0.0030	有	
主桁0101	オ	豆板	1500	1200	50	1.5000	0.0900	有	

【補修工法一覧表】	
損傷	補修工法
ひび割れ幅0.2mm未満	—
ひび割れ幅0.2mm以上1.0mm未満	ひび割れ注入工
ひび割れ幅1.0mm以上	ひび割れ充填工
道層石灰	ひび割れ充填工
剥離・鉄筋露出	断面修復工
うき・豆板	断面修復工

【ひび割れの修繕】	
ひび割れ幅0.2mm未満	ひび割れ幅0.2mm以上1.0mm未満
ひび割れ幅0.2mm以上1.0mm未満	ひび割れ幅1.0mm以上および道層石灰

注) 足場架設後に現地実測の上、数量を確定すること。
注) 基本的に0.2mm以上のひび割れを補修対象とする。
注) 道層石灰を伴う箇所は、実測値の上で補修すること。
道層石灰により、注入が困難な場合はUカット工法(もしくはVカット工法)で取り除き、ポリマーセメントモルタル埋戻しによる充填工法に変更し補修すること。
注) 記載無きひび割れはひび割れ幅0.2mmを示す。

位置図

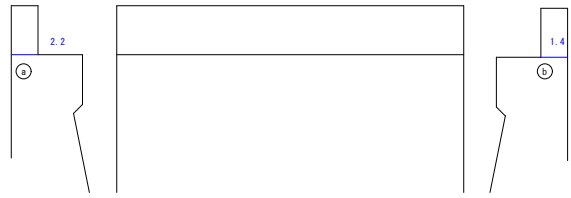


図面番号	第 3 号	図面総数	第 6 葉
工事名称	市場橋橋梁補修工事		
図名	補修詳細図(その2)		
製作年月	令和7年8月	所属年度	令和7年度
係員	課長	副課長	係員
	設計・製図	照査	
鳴門市 都市建設部 土木課			

補修詳細図(その3) S=1:30

市場橋 下部工

A1橋台

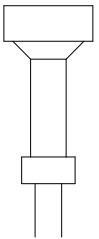


ひびわれ延長(充填工)

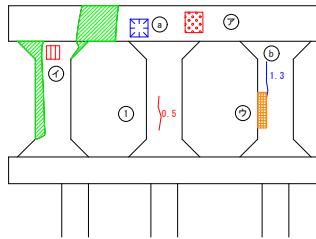
部材	No.	種別	幅 W [mm]	延長 L [mm]
橋台(縦筋)10101	a	縦筋ひびわれ	2.2	200
橋台(縦筋)10101	b	縦筋ひびわれ	1.4	300

P1橋脚

下流側側面



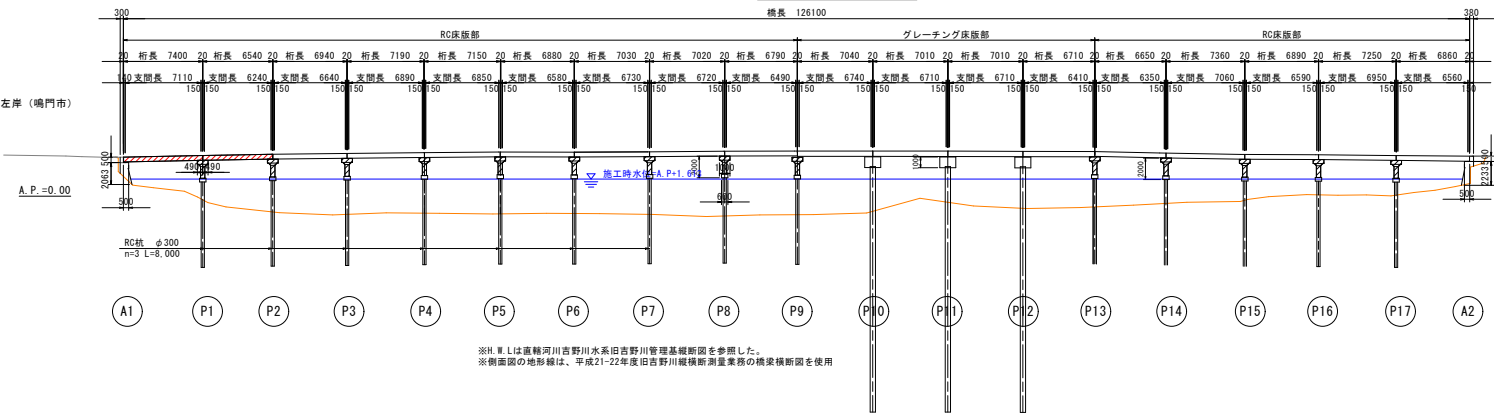
起点側正面



補修詳細図(その4) S=1:30

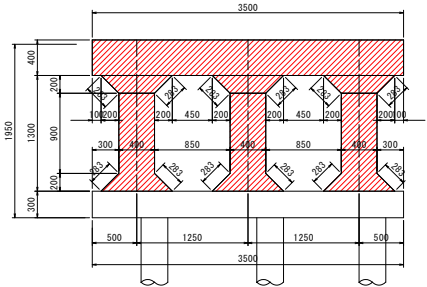
市場橋 表面含浸工

側面図 S=1:250

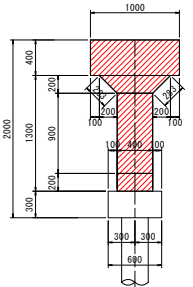


P1~2橋脚

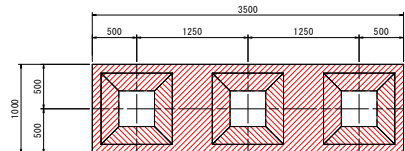
正面図



側面図

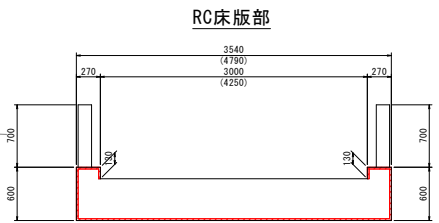


上梁下面

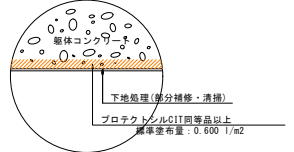


※下部工は標準形式を示す。

上部工断面図



①内は拡幅部の寸法を示す。



施工手順

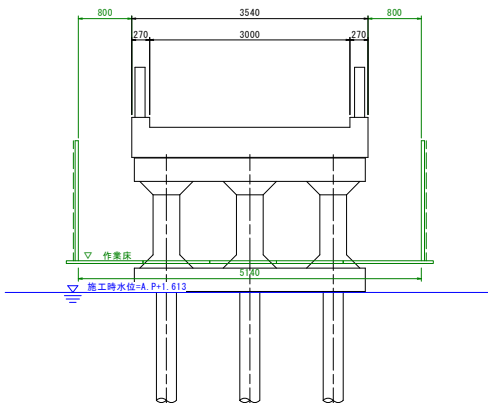
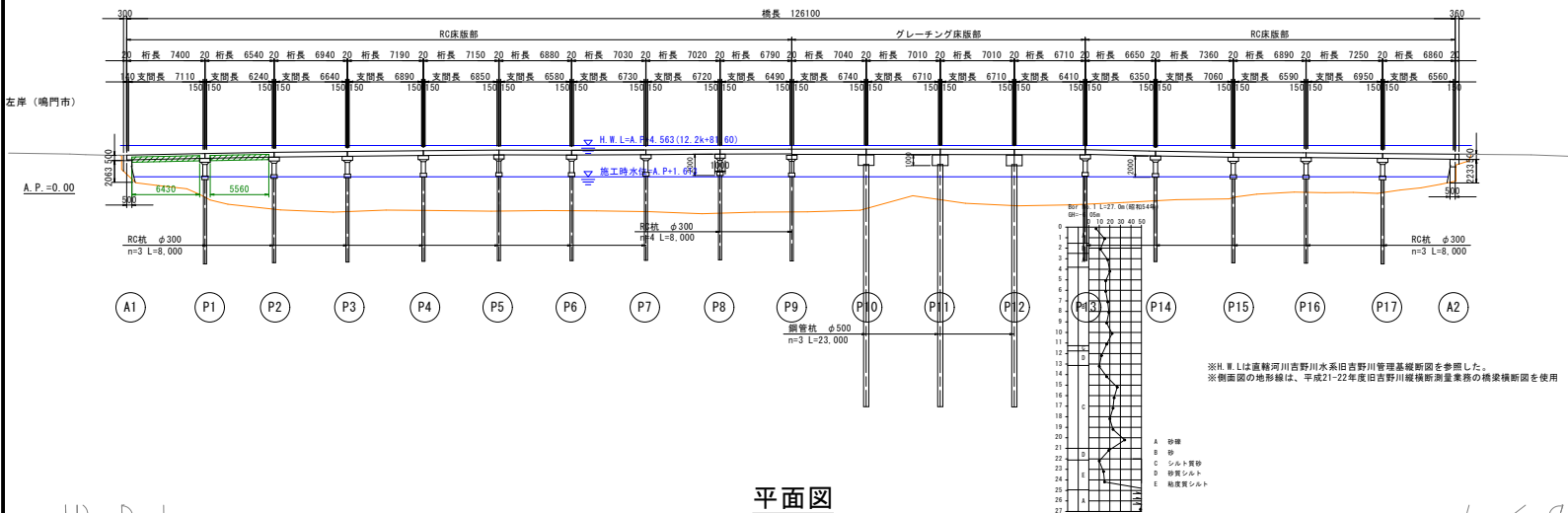
- はつり(鉄筋まではチッパー)
- はつり(鉄筋背面電動ピック)
- サンドブラストによる除錆(Sa2)
- 鉄筋防錆剤塗布
- プライマー塗布
- 断面修復材充填
(ポリマーセメントモルタル)
- プロテクトシルC1T同等品以上塗布(躯体コンクリート)
使用量: 0.600 t/m²

図面番号	第 5 号	図面総数	第 6 葉
工事名称	市場橋橋梁補修工事		
図 名	補修詳細図(その4)		
製作年月	令和7年8月	所属年度	令和7年度
係 員	課 長	副 課 長	係 長
	係 員	設計・製図	照 査
鳴門市 都市建設部 土木課			

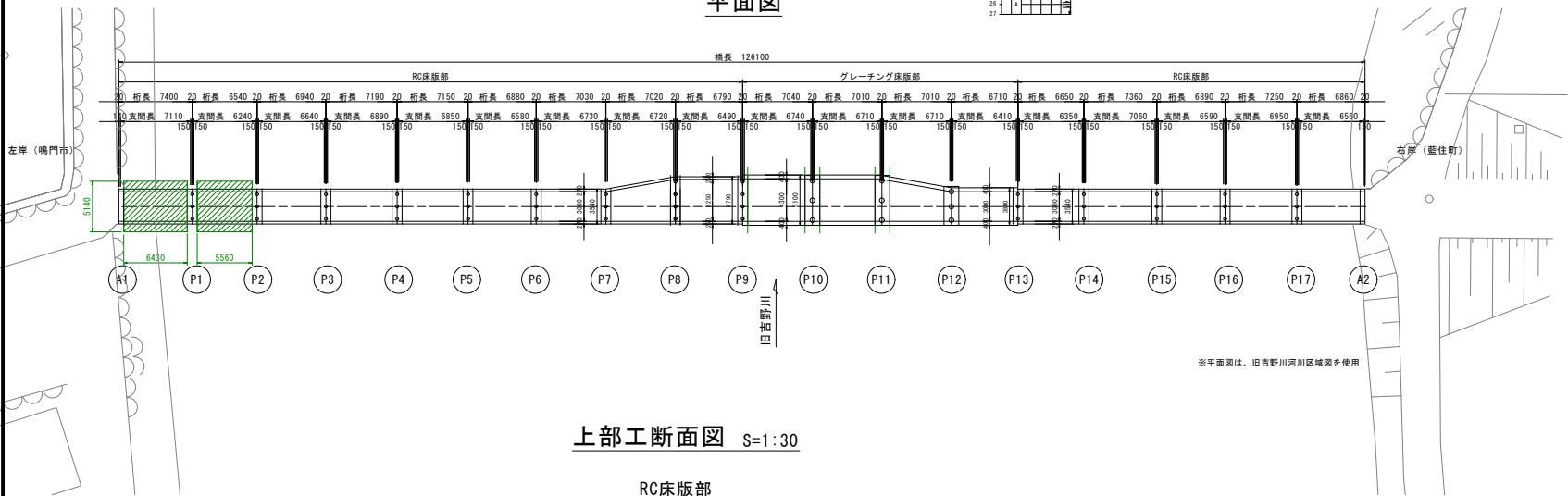
施工要領図 S=1:250

断面図 S=1:40

側面図

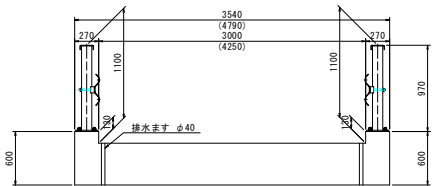


平面図



上部工断面図 S=1:30

RC床版部



①内は拡幅部の寸法を示す。

※H.W.Lは直轄河川吉野川水系旧吉野川管理基礎断面を参照した。
※側面図の地形線は、平成21~22年度旧吉野川縦横断面測量業務の橋梁横断面図を使用

※平面図は、旧吉野川河川区域図を使用

1. 本図面は、既存資料を基に現地計測やスケールアップ等にて図化したものである。
2. 詳細な寸法等に不明箇所がある為、必要に応じて再計測等を実施すること。

図面番号	第 6 号	図面総数	第 6 葉
工事名称	市場橋橋梁補修工事		
図 名	施工要領図		
製作年月	令和7年8月	所属年度	令和7年度
係 員	課 長	副 課 長	係 長
	係 員	設計・製図	照 査
鳴門市 都市建設部 土木課			